

「笑顔は元気のもと」

皆さん、いっぱい笑っていますか？

「笑う門には福来る」ということわざがありますが、笑うことは心の栄養です。そして、皆さんの笑顔は周りの人も笑顔にしてくれます。

「あ・そ・ま・な」を作成している地域の方たちは、毎年、農業体験や親子自然体験キャンプを実施していますが、いつも皆さんの笑顔から元気ももらっているそうです。

子ども総合センターでも、皆さんに楽しんでもらえるよう、各地域の児童館や、子ども家庭支援センターで様々な行事を実施しています。興味のあるものがあったら、参加してみてください。皆の笑顔を待っています。

子ども総合センター所長 菊地 加奈江



自己紹介

子どもの頃の私と今の私



私は太平洋戦争が始まった翌年の昭和17年に大阪で生まれました。

3歳くらいのときに「空襲警報！」のサイレンで押し入れに隠れたことを覚えています。

なんで「押し入れ」だったのでしょうかね？

小学生の頃は小児結核を患い、医者通いの日常で、ひ弱な、人と話すのが苦手な子どもでした。

中学に上がる頃には人との関わりが少ない（と思っていた）「農業」に憧れを持つようになりました。

体力的に子どもの頃の憧れは実現できませんでしたが、今は農業に係わる仕事で皆さんとの触れ合いもでき、楽しい毎日を過ごしています。

農業体験講師 梶谷 正義

青少年活動推進委員会では、都立園芸高等学校の校長先生も務めていられた梶谷正義先生に農業体験の講師を依頼しています。農業に関する広い見識をお持ちであり、実に10年以上の間、事業に携わって頂いています。

神田川に入ってみよう！神田川親水テラスの開放

水辺環境の改善が進む神田川では、今年もアユの遡上が確認できました。その神田川を体験してもらうため、夏休みの期間中に、神田川に降りられる親水テラスを一般に開放します。川の中にいるエビなどの生き物を観察することもできます。普段は入ることのできない神田川の流れや水辺をこの機会に体験してみませんか。

※申し込みなしで自由に入れます

【日時】7月23日（土）から8月11日（木・祝）まで

開放時間：午前10時から午後3時まで

【場所】神田川親水テラス（戸塚地域センターのとなり）

【持ち物】長ぐつまたは汚れてもいい靴

※はだしやビーチサンダルでは入れません。

※川の深さは20センチくらいです。

※小学3年生以下は保護者と同伴をお願いします。

※天候や状況によって入れない場合があります。事前にお問合わせください。

【問合せ先】みどり公園課みどりの係（〒160-8484 歌舞伎町1-4-1 本庁舎7階）

☎（5273）3924 FAX（3209）5595



案内図

問合せ先

新宿区青少年活動推進委員会では「あ・そ・ま・な」に対するご意見、ご感想や情報提供を電話・ファックスにて受け付けております。お気軽にお寄せください。

TEL：03-3232-0695

FAX：03-3232-0666

発行日：令和4年7月8日

編集：新宿区青少年活動推進委員会

発行：新宿区青少年活動推進委員会事務局 〒160-0022 新宿区新宿七丁目3番29号

新宿区立子ども総合センター1階 子ども家庭支援課子育て支援係

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。



※写真・イラストの無断転用を禁止します

あ・そ・ま・な



新宿区のマーク

スタート！

農業体験の場

～ここから広場～



田植えの様子

ナミアゲハ

ムクドリ

新宿区立子ども総合センター ここから広場

たいけん 農業体験始まりました!

農業体験の様子

3年ぶり!

抽選会

4/14 PM2:00 ~

133名の応募がありました。
厳正に抽選を行い、
25名が選ばれました。

開耕式
4月23日

農業体験は、子どもたちが
自分の力で学び、考え、経験
する場所です。
新型コロナウイルス感染
症の対策をしっかりと取り
つつ実施していきます。

梶谷 正義 先生

苗植え

ナス・ピーマン

トマト

サトイモ

トマト

スイカ

芽が出たよ

成長すると
こうなるよ

梶谷先生
のお話

トウモロコシの
ヒゲ(絹糸)一本
一本が一粒一粒
実になるんだよ

収穫

キュウリ

トウモロコシ

今日の作業
の日記

学んだことを
記録しよう

江戸東京野菜とは?

東京で江戸時代から受け継がれて
いる伝統野菜のことで、新宿では4
品目が育てられているよ。

- ・内藤とうがらし
- ・内藤かぼちゃ
- ・早稲田みょうが
- ・鳴子ウリ

これが
絹糸だよ

・ぜっ草をとったからいっぱいそだっ
てほしいよ
・田植えが、土がドロドロしていて、
おずかしかったの
・地味なヤギようがおいしいやさい
を作ると思ったの